

めぶきフィナンシャルグループ 個人投資家さま向け会社説明会

2019年2月

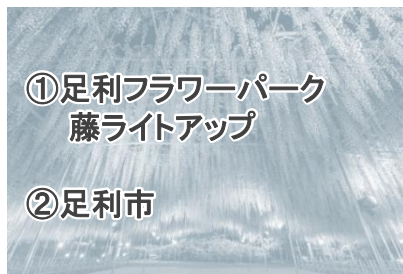


MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

撮影地については表紙裏面をご覧ください。

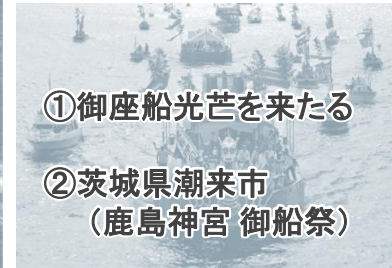
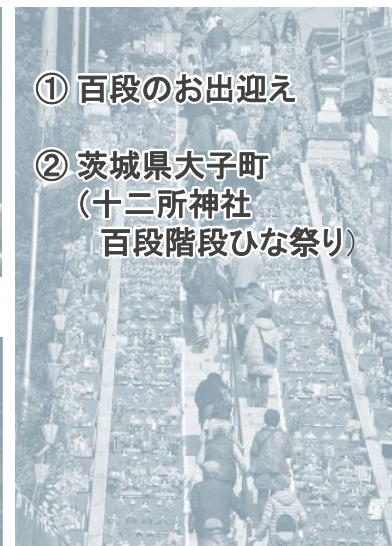
栃木県の観光名所

① 写真の表題 ② 撮影地



茨城県の観光名所(常陽フォトコンテスト受賞作品)

① 写真の表題 ② 撮影地



目次

1 めぶきフィナンシャルグループについて

めぶきFGの概要	4
地方銀行業界での位置	5
めぶきFG発足後の歩み	6
茨城・栃木両県の経済的ポテンシャル	7
営業エリアのマーケットポテンシャル	8
店舗ネットワーク	9-10

2 めぶきFGの取り組み

(1) 地域の持続的成長への貢献

FGの強みを生かした事業戦略	12
広域連携支援	13
広域ネットワークの活用	14
コンサルティングに注力	15
産業育成	16
新事業創出	17
地域のブランド化	18
後継者育成・人材獲得の支援	19

(2) 総合金融サービスの提供

ライフステージに合わせたご提案	20
預り資産・相続関連業務	21
ITを活用した利便性向上	22
決済サービスの利便性向上	23

(3) ゆたかな未来の創造(ESGの取り組み)

持続可能な地域社会の実現に向けて	24
Environment (環境)	25
Social (社会)	26
Governance (企業統治)	27

3 業績・株主還元

2018年度第3四半期 決算の概要	29
株主還元 配当政策/株主優待制度	30
株価の推移	31
(ご参考)長期金利(日本国債10年利回り)	32
および株価指数の推移	

4 資料編

2018年度第3四半期 決算概要(詳細)	34
2018年度業績見通し	35
貸出金、預金、役務取引等利益の推移	36
自己資本比率	37
(ご参考)ホームページのご案内	38
(ご参考)用語集	39

① めぶきFGについて

② めぶきFGの取り組み

③ 業績・株主還元

④ 資料編

めぶきフィナンシャルグループの概要

① ② ③ ④

常陽銀行・足利銀行を傘下に置く金融持株会社として2016年10月に発足

会社概要

上場	東京証券取引所（証券コード:7167）
統合日	2016年10月1日
従業員数（'18年3月末）	6,666名（外、平均臨時従業員数 3,894名）
総資産（'18年12月末）	17兆2,424億円
自己資本比率（'18年12月末）	10.11%
時価総額（'18年12月末）	3,442億円

格付情報

格付投資情報センター(R&I)

めぶきFG	常陽銀行	足利銀行
A	A+	A+

ムーディーズ

常陽銀行
A2

主要インデックスへの採用

JPX400
日経株価指数300
日経500種平均株価
TOPIX、MSCIジャパン など

グループ体制



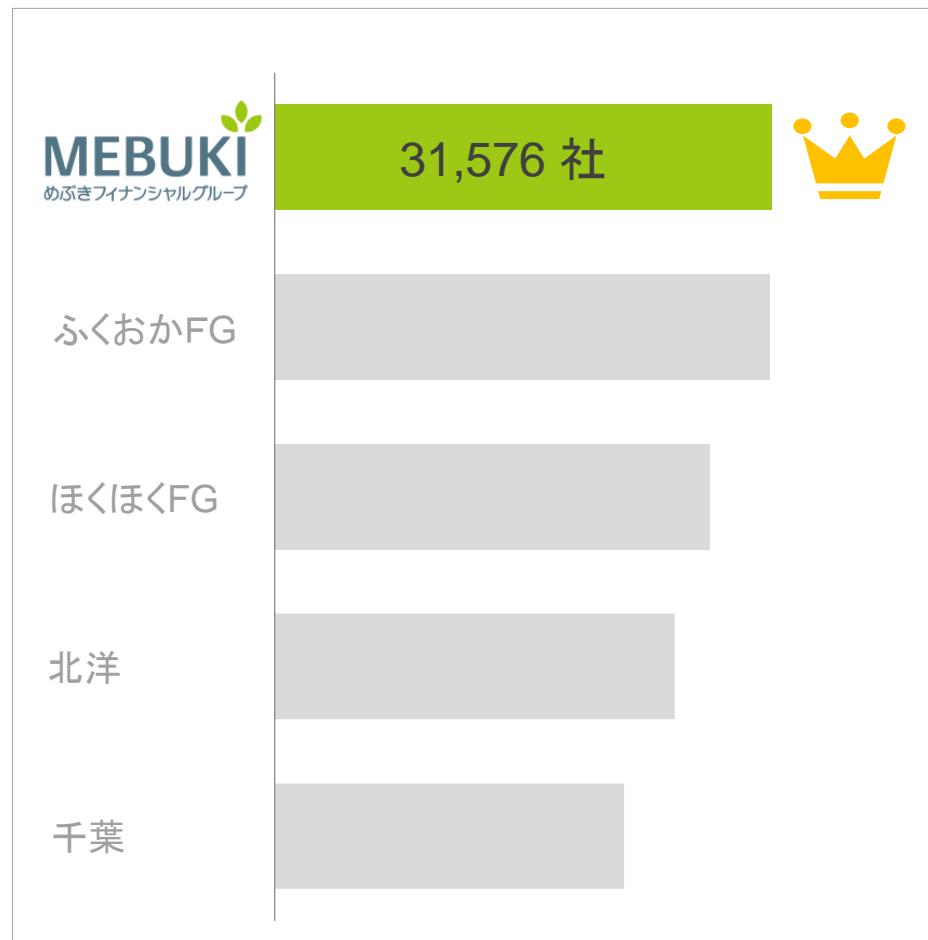
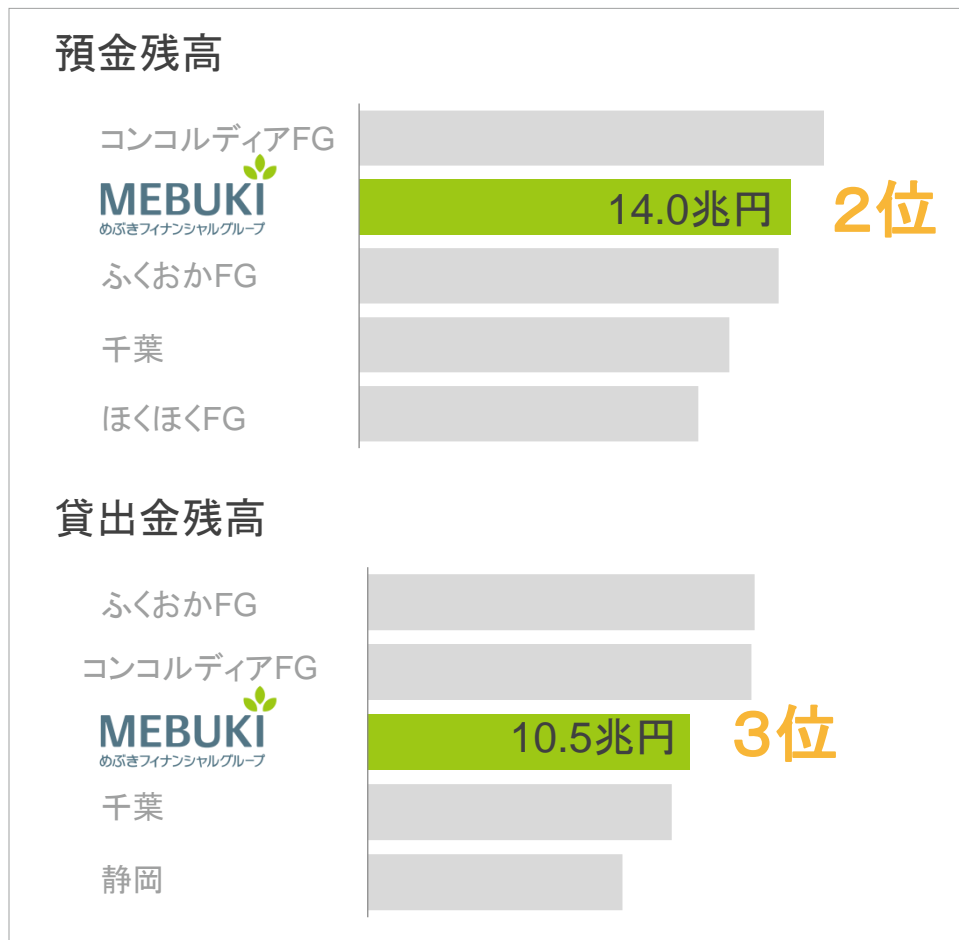
地方銀行業界での位置



お客さまのご支持に裏打ちされた資産規模が強み

資産規模 ('18年12月末現在)

メインバンク先数 ('18年3月末現在)

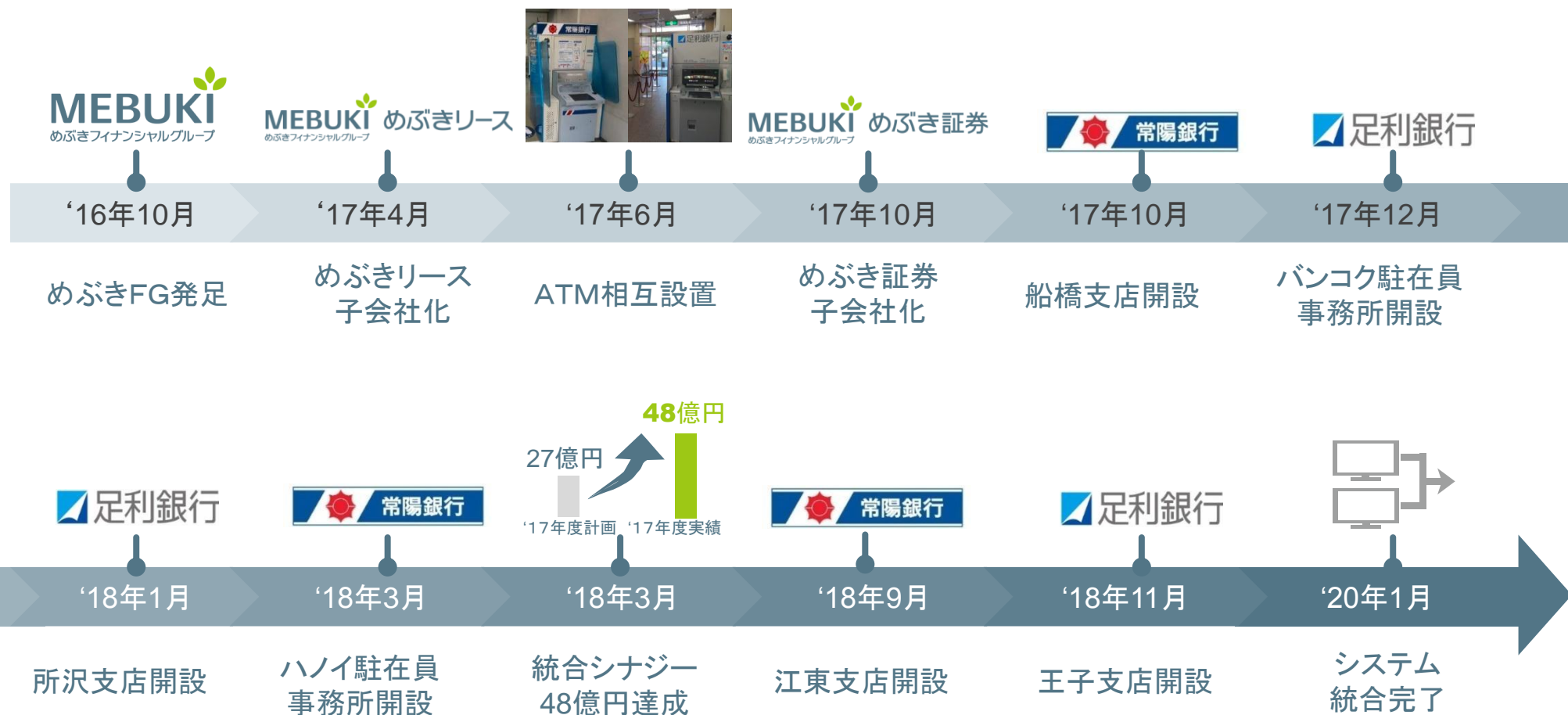


(株)東京商工リサーチ「企業のメインバンク調査(2018年)」

めぶきFG発足後の歩み

1 2 3 4

第1次グループ中期経営計画に基づき着実に前進を続けている

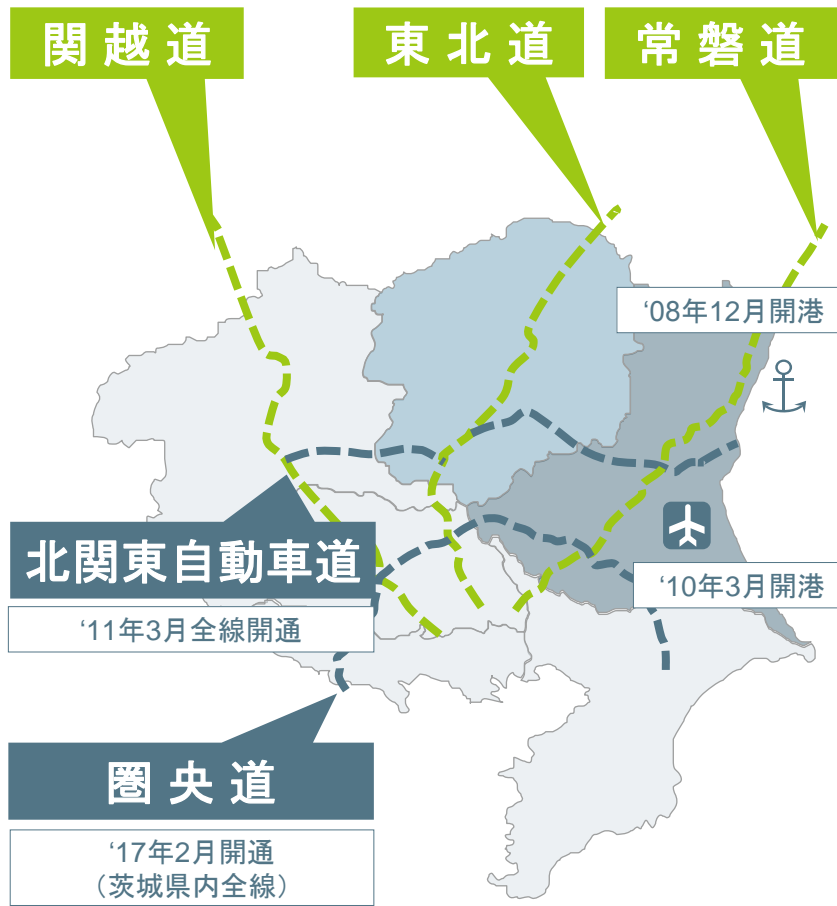


茨城・栃木両県の経済的ポテンシャル

交通網の整備に伴い、マザーマーケットのさらなる発展が期待される

交通網の優位性

高速道路の連結により、広域ネットワークを形成



企業誘致のポテンシャル

工場立地敷地面積



経済指標

	茨城県	栃木県
人口※1	291万人 11位	197万人 18位
GDP 名目県内総生産※1	12.9兆円 11位	9.0兆円 15位
一人当たり県民所得※1	307万円 10位	348万円 4位
事業所数※2	11.3万事業所 12位	8.4万事業所 19位
製造品出荷額等※3	11.2兆円 8位	8.8兆円 11位
農業産出額※4	4,967億円 3位	2,828億円 9位

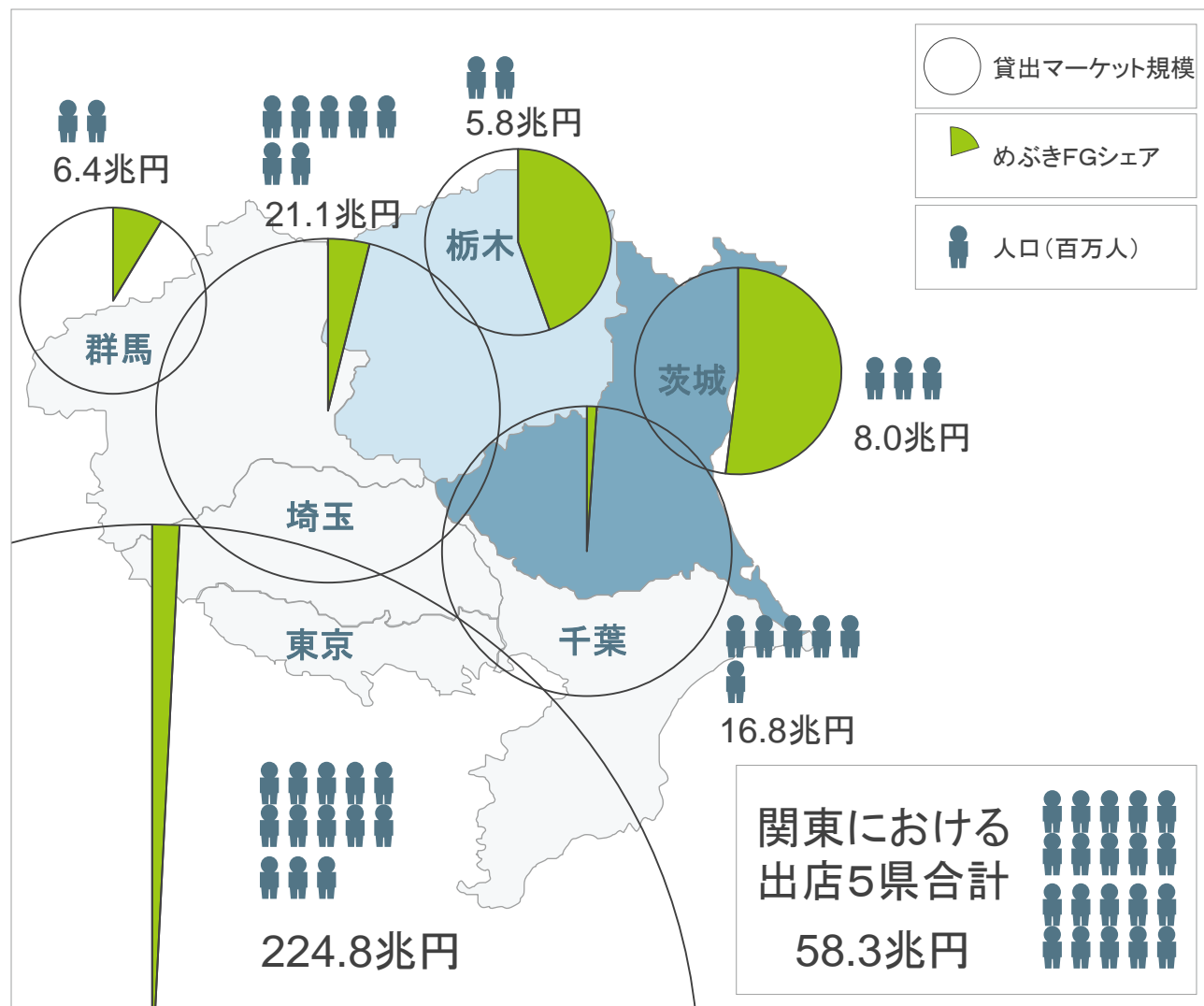
※1 内閣府「県民経済計算」
 ※3 茨城県・栃木県「工業統計調査」

※2 総務省統計局「平成28年経済センサス基礎調査」
 ※4 農林水産省「平成29年生産農業所得統計」

営業エリアのマーケットポテンシャル

① ② ③ ④

茨城県・栃木県と隣県におけるマーケットポテンシャルは大きい



北関東を営業地盤として、マザーマーケットである茨城県・栃木県で5割前後のシェアを有する

マーケット規模の大きい千葉県・埼玉県なども営業エリアとして店舗網を有しており、シェアを伸ばす余地は十分にある

東京に近い立地を生かし、拠点開設等によりマーケットポテンシャルの取り込みを目指す

店舗ネットワーク(国内)

① ② ③ ④

('18年12月末現在)

経営統合後、グループ全体で10ヵ店の新規出店を実施

銀行の支店数(2行合算)

338店舗

宮城 ①

福島 ⑪

栃木

120
店舗

茨城

155
店舗

群馬

15
店舗

埼玉

20
店舗

東京

8
店舗

千葉

7
店舗

所沢支店 '18年1月

王子支店 '18年11月

江東支店 '18年9月

船橋支店 '17年10月

大阪 ①

店舗外ATM427ヶ所
(共同利用ATM含む)

めぶきリース/めぶき証券

めぶきリース
宇都宮営業部
足利営業部
小山営業部

めぶき証券
宇都宮支店

宮城 ①

福島 ②

栃木

3
1

茨城

5
5

埼玉営業部 '18年10月

埼玉 ②

めぶきリース
13拠点

めぶき証券
6拠点

めぶきリース
本社営業部
つくば営業部
下館営業部
古河営業部
鹿島営業部

めぶき証券
水戸支店
日立駐在事務所
鹿島駐在事務所
つくば支店
下館駐在事務所

店舗ネットワーク(海外)

1 2 3 4

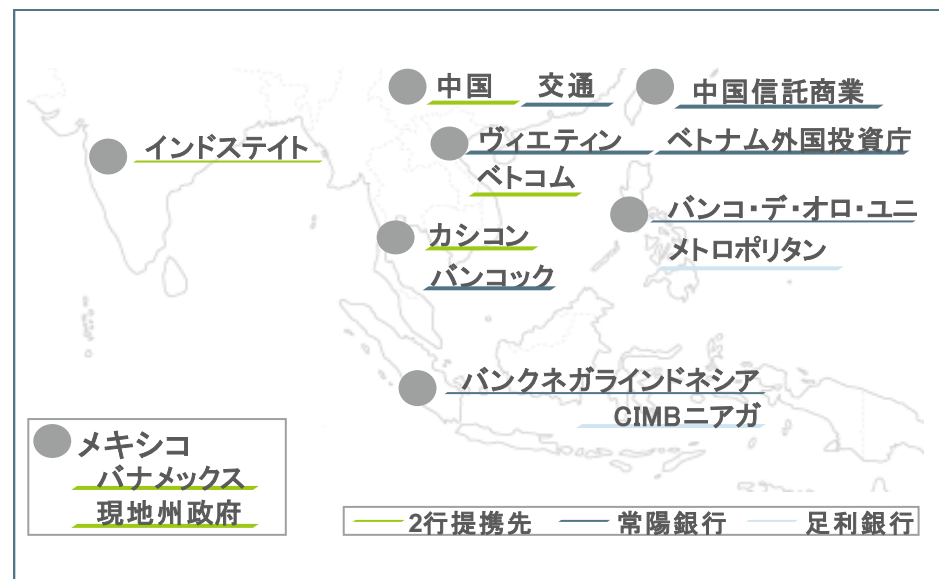
('18年12月末現在)

海外拠点網の充実を図り、お取引先さまの海外展開支援を強化

海外拠点(駐在員事務所)



現地金融機関との提携



海外展開支援

「Mfair バンコク 2019 ものづくり商談会」

2019年6月にタイ・バンコクで開催予定

海外事業展開支援業務の一環として、ものづくり企業に対する海外部材調達や販路開拓を支援

① めぶきFGについて

② めぶきFGの取り組み

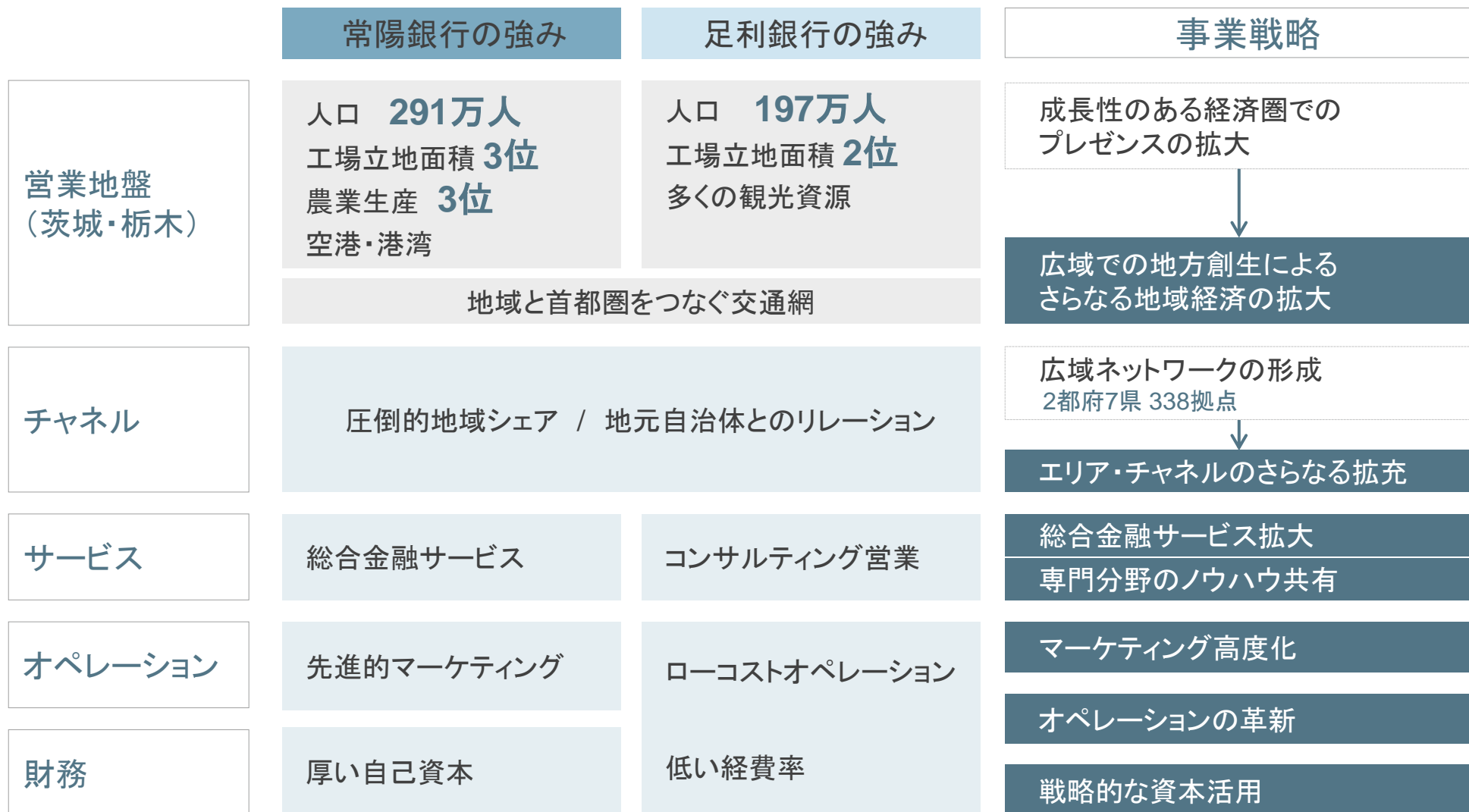
③ 業績・株主還元

④ 資料編

(1) 地域の持続的成長への貢献

1 2 3 4

めぶきFGの強みや地の利を最大限に活かし、地域の持続的な成長を目指す



(1) 地域の持続的成長への貢献

広域連携支援～地域社会の課題解決にグループ一体で対応



主な取組内容

広域ネットワークの活用促進

ビジネスマッチングの広域化
外部専門家等との連携 等

産業育成／新事業創出

産業育成・新事業支援プランの共同化
ビジネスコンテスト
技術コーディネーター活用
首都圏・海外への進出支援、企業誘致 等

地域のブランド化

食・農/観光への投資連携事業の創出支援
地域資源を活用した新商品開発支援 等

地公体との連携

商店街活性化、移住定住促進策提案 等

新規出店と重点エリア

新規出店計画 : 2016年10月～2021年3月に15店舗程度(リース・証券含む)

新規出店実績: 10店(銀行6、証券3、リース1)成長地域へ出店

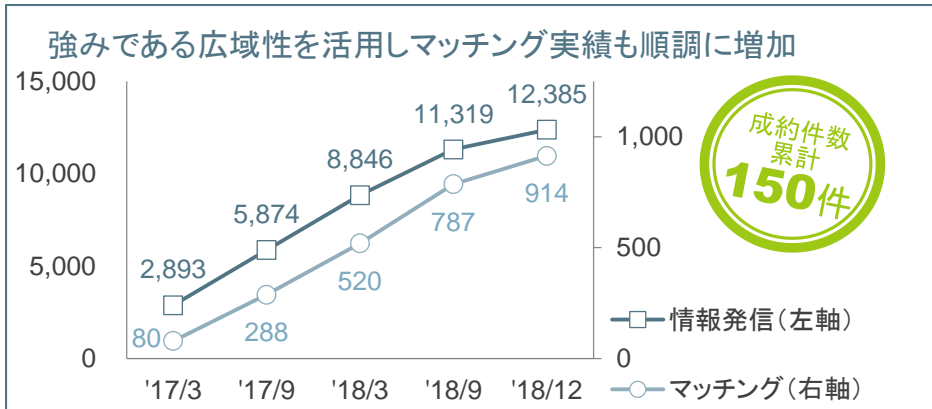
成長ポテンシャルの取り込み

重点エリア: 千葉北西部、埼玉南部、東京、TX沿線

(1) 地域の持続的成長への貢献

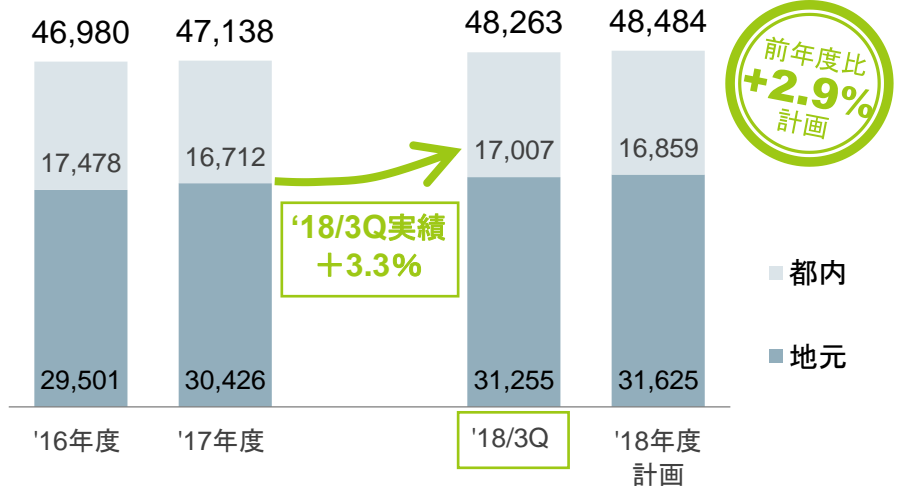
広域ネットワークの活用～ビジネスマッチングの広域化

広域ビジネスマッチング(累計件数)



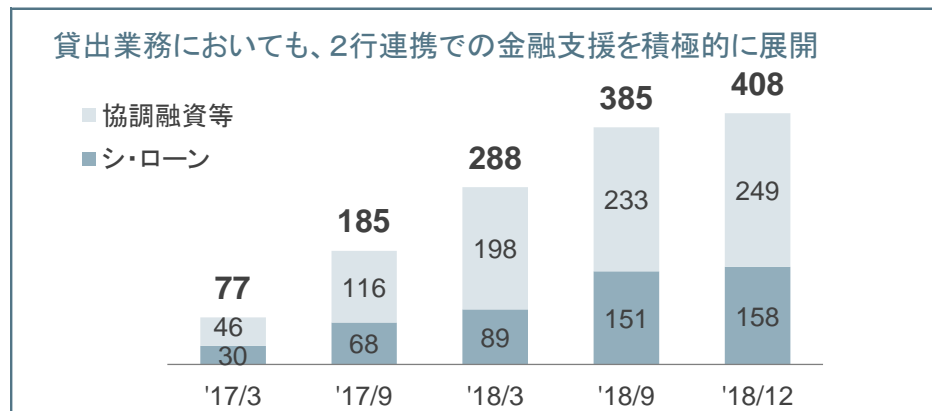
法人向け貸出の増強

(平残:億円)



協調融資・2行連携貸出(実行額累計)

(億円)



法人貸出増強施策

情報の精度・鮮度を重視した広域ビジネスマッチングの展開

協調融資・2行連携の強化

事業性評価・事業承継など、コンサルティング力の強化

新営業体制・地元法人営業改革に基づく顧客セグメントに応じた展開

ストラクチャードファイナンス、クロスボーダー貸出の強化(対象地域・領域拡大)

成長分野における資金需要への積極的な取組み

(1) 地域の持続的成長への貢献

コンサルティングに注力～お客さまの様々なニーズに対応

事業承継・M&A

後継者の有無などに応じて、事業承継の方向性を共に考えソリューションを提供

取引先の円滑な事業・資産承継、雇用維持をサポートすることにより、地域経済の持続的発展に貢献

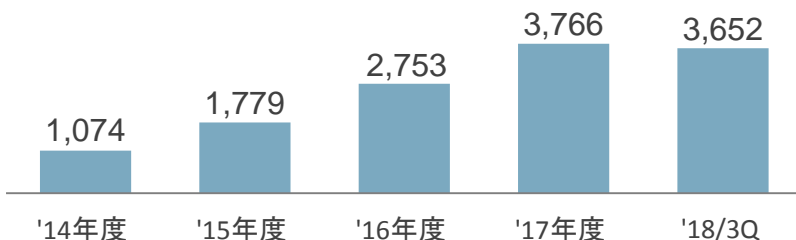


親族の承継

従業員の承継

M&A

事業承継・M&Aの提案先数(2行合算)

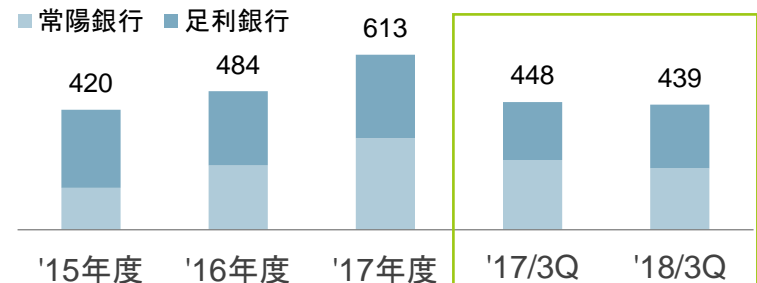


茨城県・栃木県内でM&A等を選択する見込みのある企業数: 約2万社

* 中小企業庁統計表一覧・帝国データバンク公表資料等により当社推定

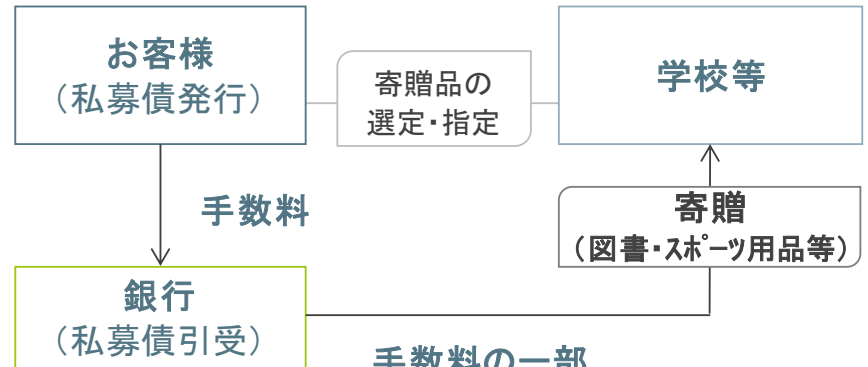
私募債発行

(億円)



寄贈サービス付私募債 ('18年12月末累積実績: 359億円/415件)

お客様とともに、学校環境の整備をつうじて、地域社会へ貢献



手数料の一部

'16年7月の取扱い開始より、2行合算で総額6千万円を超える寄贈を実施

(1) 地域の持続的成長への貢献

産業育成～ビジネス競争力向上のため、さまざまな施策を実施

ものづくり企業フォーラム

常陽銀行 足利銀行 MEBUKI

めざましFG ものづくり企業フォーラム 2019
技術商談会 2019
2月19日(火)
10:00～17:00(開場 9:00)
つくば国際会議場
茨城県つくば市竹園2丁目

北関東で最大級!

すべての参加企業に貴社の技術を売り込むチャンスです。ぜひご参加を!

「技術提案書」を作成し、内容が掲載されたWebサイトで公開中!

2019年2月19日(火)開催

<実績>
予約商談会 374件
パネル展示商談会 279社

北関東で最大級!

1,000社 480社
2,200人 307社

※TPO受給済、海外企業も参加も大歓迎!

地元ものづくり企業の事業支援を目的とし、地銀最大級の規模で開催

2019年2月19日(火)開催

<実績>

予約商談会 374件

パネル展示商談会 279社



事前に作成する企業の技術や製品についてまとめた「技術提案書」をもとに、予約商談を行うほか、パネル展示商談を実施。

製造業実務研修会



大企業における品質管理の取り組み事例や演習を通じてデータの分析手法を学び、ノウハウを実践形式で習得。

<実績>

16社/24名 参加

海外進出支援

中国やシンガポールで商談会を開催。

現地企業・出展企業同士の商談や最新ビジネス情報の提供、企業間の情報交換の場を提供。

<開催実績>

遼寧省 中日商談会(中国 遼寧省)

2018年9月19日 開催



(1) 地域の持続的成長への貢献

新事業創出～新商品・新サービス開発を支援する取り組み



地域の事業プランの掘り起こし

地域に潜在する革新的・創造的な事業プランを掘り起こす
「めぶきビジネスアワード」を常陽銀行・足利銀行共同で開催。



めぶきビジネスアワード

応募プラン数	受賞プラン数
637先	30プラン

(第2回開催実績)

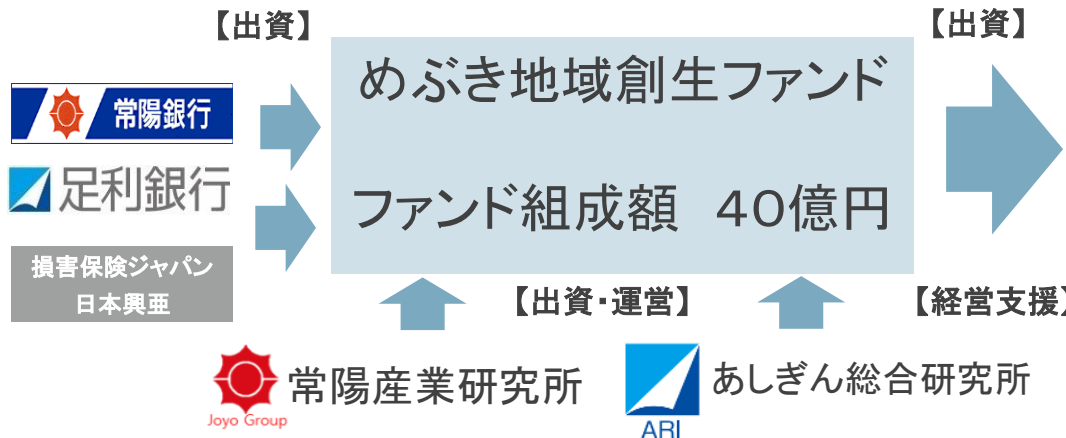
ファンドでの支援

両行および損保ジャパン日本興亜等が出資する新事業創出支援ファンド。

地域経済の発展に資する事業を行う中小・中堅企業に出資・経営支援。

<2018年12月末現在実績>

投資額17.7億円／合計9件



新事業創出支援

地域経済の発展に
資する事業を行う
中小・中堅企業

(1) 地域の持続的成長への貢献

1 2 3 4

地域のブランド化～地域の食材を国内外へ積極的にPR

食の商談会

食関連事業者の販路拡大および
食材調達支援、参加者の相互交流
などを目的に開催
2019年1月23日(水)開催

<実績>

出展企業 242社
参加者 約3,000名

北関東では最大級の商談会。

売り手企業が自社製品をPR。
買い手企業との商談の場(予約制)
を提供。



地域商社

食に関する地域資源の「発掘」から「生産」
「マーケティング」「販売」「流通」までの
プロセスを、一貫して支援。



茨城県産いちごをロシアに試験輸出。

他商社とも連携し、県産品の販路を拡大。

(1) 地域の持続的成長への貢献

1 2 3 4

後継者育成・人材獲得の支援



常陽未来協創塾、あしぎんニューリーダー養成道場

企業の後継予定者や若手経営者の皆さまがこれからの地域の未来を創り上げるための学びの場として開講

<受講内容>

- ✓ 企業経営に必要なノウハウについての参画型の講義を開催
- ✓ 過去の塾生や当行役職員との交流会などを実施、異業種交流・人脈形成の場を提供

<受講実績>

- ◇常陽未来協創塾・・・累計119名受講
- ◇あしぎんニューリーダー養成道場・・・累計302名受講

人材不足の解消

- ✓ 関東経済産業局と連携し、新製品開発や販路拡大などの経営課題を抱える企業と、豊富な知識・経験・ネットワークをもつ企業OB（新現役）とのマッチングを実施。
- ✓ 自治体や大学と連携し、地域における若手人材の就業機会の提供および企業の人材確保の支援を実施。
- ✓ 常陽産業研究所は、多くの企業にとって重要な経営課題になっている人材確保の問題を解決するため、人材紹介事業を開始。



(2) 総合金融サービスの提供

ライフステージに合わせたご提案



当社グループがご提供する商品

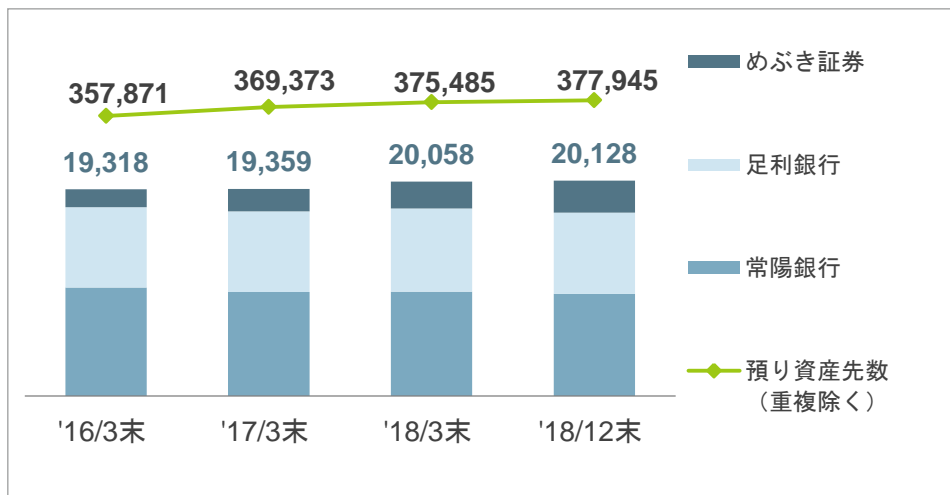
普通預金	給振指定	マイカーローン	住宅ローン	教育ローン	資産運用	年金指定	遺言信託
ポイントクラブ (サービス)	インターネットバンキング	ブライダルローン	火災保険	教育ローン [カルテュスタン]	保険商品	資産運用のご案内	
	クレジットカード デビットカード	フリーローン	積立商品				

(2) 総合金融サービスの提供

1 2 3 4

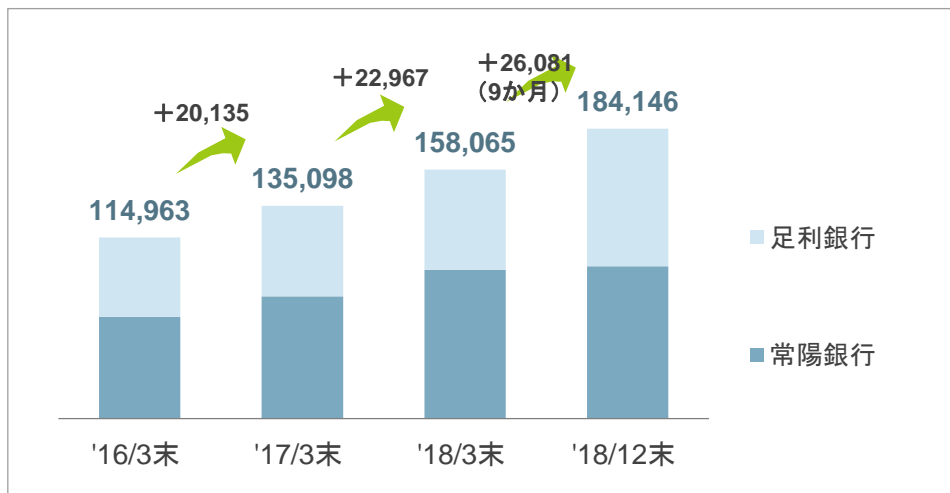
グループ預り資産残高と契約先数

(単位: 億円/先)



積立契約者数(2行合算)

(単位: 先)



相続関連業務

高齢層を中心とした資産の円滑な承継や、財産管理に関するニーズに対応

- ✓ 遺言信託
- ✓ 遺産整理業務
- ✓ 財産継承プランニング
- ✓ 遺言代用信託

遺言代用信託「とどく想い」 2018年10月より取扱開始

万が一のことがあっても、ご家族がすぐに引き出せるお金を準備しておくことができます。











- ① 葬儀費用などすぐに必要なお金が簡単な手続きで受取可能
- ② 大切なご家族にのこすお金の割合を事前に決定
- ③ 万一時ご家族は3つの受取方法から選択
- ④ 元本保証かつ預金保険の対象なので安心

(2) 総合金融サービスの提供

1 2 3 4

ITを活用し、お客さまの利便性を向上

決済		スマートフォン少額決済
ご預金		口座開設アプリ
		通帳アプリ・あしぎんアプリ インターネットバンキング
お借入		マイカーローン・教育ローン申込ネット完結 住宅ローン借換ネット申し込み
資産管理		資産運用提案 ロボアドバイザー・ポートフォリオ提案ツール
		家計管理アプリ
お客さま ニーズ の発掘		データ分析 マーケティング・商品提案等
		AIの活用

来店不要！
いつでもどこでも
口座開設ができます。

お客さまのスマホが通帳に！
明細にメモ書きもできます。

お客さまにあった商品・サービスを
最適なタイミングでご提案！



(2) 総合金融サービスの提供

1 2 3 4

決済サービスの利便性向上・キャッシュレス化に対応

クレジットカード・デビットカードを活用した キャッシュレス化の取り組み

決済サービスの利便性向上に向けて、グループ会社と連携し、クレジット加盟店を拡大

<加盟店舗数> (2018年12月末現在)
2社*合計：19,899店 (前年同月比+97店)

<加盟店取扱高> (2018年4-12月累計)
2社*合計：952億円 (同上 +126億円)

※2社：常陽クレジット、あしぎんクレジット



<クレジットカード会員数>
2行合計 565千名 (前年同月比+14千名)

<クレジット取扱高>
2行合計 910億円 (同上 +68億円)

QRコード決済サービスの導入

お客様がQRコードを介して銀行口座から直接支払いができる決済機能を提供。

「&Pay※」独自の決済・送金プラットフォームを活用することで、リアルタイムかつ安価な手数料を実現。



※「&Pay」は株式会社エムティーアイが提供するサービスです。

(3) ゆたかな未来の創造 (ESGの取組み)

1 2 3 4

持続可能な地域社会の実現に向け、ESGの取り組みを強化



- ✓ 環境保全団体等への助成金支援
- ✓ 環境に配慮した店舗づくり
- ✓ 環境保全活動(森林整備)
- ✓ 再生可能エネルギー

- ✓ 地域産業の掘り起し、新事業創造支援
- ✓ 事業承継支援と人材不足解消に向けたマッチング支援
- ✓ 若手経営者や子どもたちの育成支援
- ✓ 地方創生への取り組み
- ✓ 女性活躍の推進

- ✓ コーポレートガバナンス体制の確立
- ✓ 内部統制システムの整備
- ✓ リスク管理態勢の高度化
- ✓ コンプライアンス(法令等遵守)の強化

(3) ゆたかな未来の創造 (ESGの取組み)

Environment (環境) に対する取り組み事例



設立からの助成金累計	
1,178先	約1億3,000万円

環境保全活動

ふるさとの美しい健全な森を次世代に引き継ぐため、行員が苗木の植樹や森林保全活動として下草刈りを実施しています。

2018年4月には常陽ふるさとの森に新入行員の研修プログラムの一環として、約800本の少花粉のスギやヒノキの苗木を植樹しました。

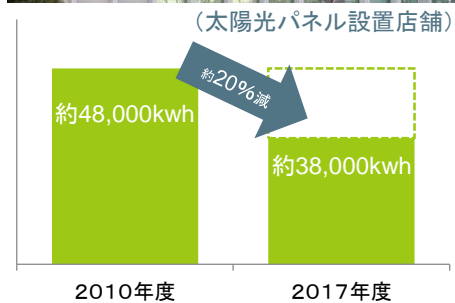
信託スキーム等を通じた環境保全活動

1992年に公益信託「エコーいばらき」環境保全基金を設立。

茨城県内の環境保全に取り組む団体などに継続的に助成を実施。

(2017年度助成金 962万円/121先)

2017年
サステナブルファイナンス大賞
「地域金融賞」受賞！！



環境に配慮した店舗づくり

新店舗の太陽光発電システムの設置、店内照明のLED電球への切替など、環境に配慮した店舗づくりを進めています。

環境関連融資

太陽光やバイオマスなどのクリーンエネルギーを利用した発電事業に対する環境関連融資を通じて、地域の再生可能エネルギーの普及・発展に取り組んでいます。

また、環境保全に係る設備資金の融資金利を優遇するなど、環境関連の課題解決に取り組む事業者を支援しています。



	契約件数	契約額
2017年度 太陽光発電融資 (2行合算)	377件	349億円

(3) ゆたかな未来の創造 (ESGの取組み)

1 2 3 4

Social (社会) に対する取り組み事例



(真壁地区古民家)

自治体と連携した 地方創生への取組み

伝統的な町並み等の地域資源を活用した地域振興や古民家の利活用を通じた民泊・農泊事業に取り組んでいます。



金融教室の開催

次世代を担う子どもたちにお金の大切さや銀行の役割を学んでいただく「金融教室」を開催しています。

金融教室

開催回数	受講者数
90回	約2,800名

(2017年度・2行合算)

金融サービスを通じた 地域貢献

お客さまが発行する私募債の手数料の一部を活用し、お客さまが希望する学校等に図書やスポーツ用品、福祉用具等を寄贈しています。

寄贈サービス付私募債(累計)

件数	発行額
310件	276億円

(2018年3月末、2行合算)



(福祉用具(車いす)の寄贈)

女性の活躍推進

意欲と能力のある女性行員の役付者への登用を積極的に行っています。

また、女性リーダー育成のための常陽・足利合同研修会を開催しています。

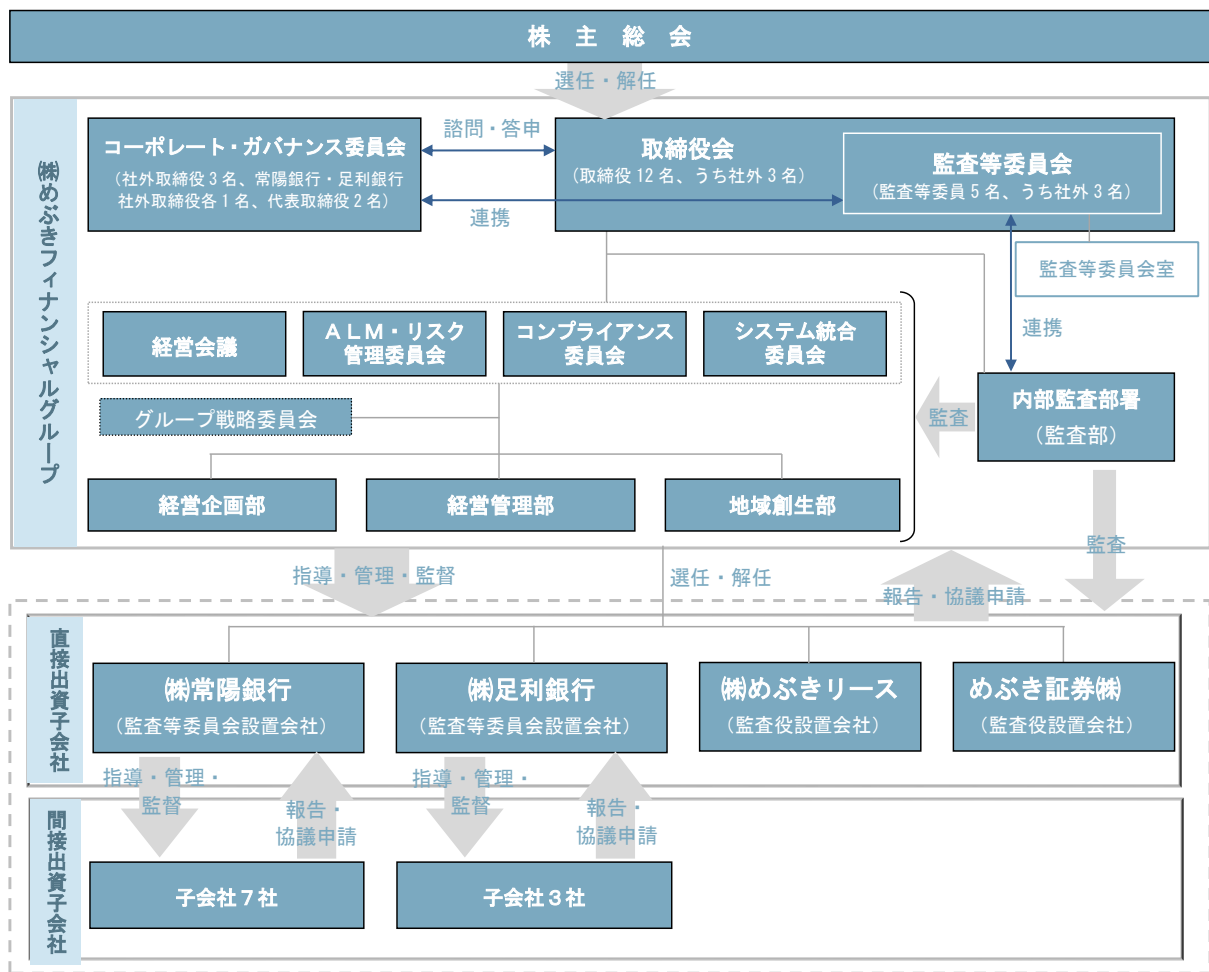


(めぶき女性塾開催の様子)

(3) ゆたかな未来の創造 (ESGの取組み)

Governance (企業統治) にむけて適切な体制を構築

【当社グループのコーポレート・ガバナンス体制】



<取締役会>

取締役会は、取締役12名（うち社外取締役3名）で構成され、経営の基本方針や重要な業務等を決定するとともに、取締役の職務の執行の監督を行います。弁護士や学識経験者等複数の社外取締役の配置による透明かつ公正な意思決定機能と高い監査・監督機能を確保しつつ、業務執行の決定権限の多くを取締役に委任することにより、迅速・果敢な意思決定と業務執行の実現を図っております。原則月1回開催。

<監査等委員会>

監査等委員である取締役5名（うち社外取締役3名）で構成され、取締役の職務の執行を監査し、株主総会に提出する会計監査人の選任及び解任、並びに会計監査人を再任しないことに関する議案の内容等の決定を行います。原則月1回開催。

<コーポレートガバナンス委員会>

社外取締役（子銀行の社外取締役を含む）を過半数とする構成。委員長は社外取締役が務め、取締役候補の選定や取締役の報酬に関する事項等を審議し、取締役会に答申しております。

<決議機関>

取締役会の決定に基づき、業務執行上の重要事項を協議・決定する機関として、経営会議、ALM・リスク管理委員会、コンプライアンス委員会、システム統合委員会を設置しております。

① めぶきFGについて

② めぶきFGの取り組み

③ 業績・株主還元

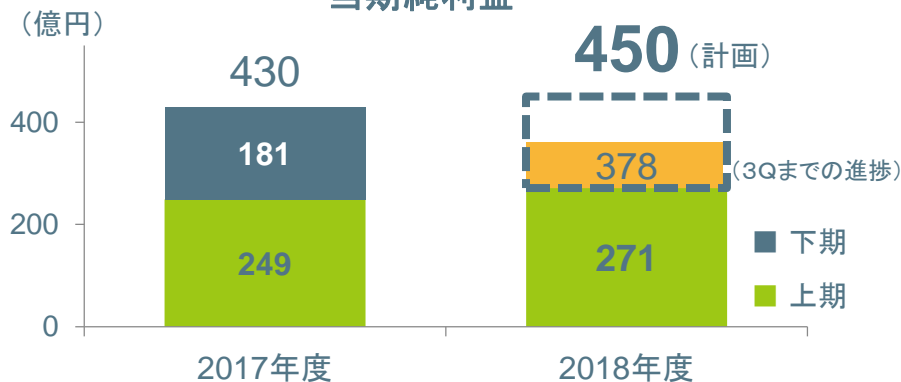
④ 資料編

2018年度第3四半期決算の概要

2018年度第3四半期の業績は順調に推移。通期見通しも予定どおりを見込む

めぶきFG(連結)

当期純利益



✓ 第3四半期実績

378億円

✓ 通期見通し

450億円
(5月の公表値から修正なし)

✓ 第3四半期までの進捗

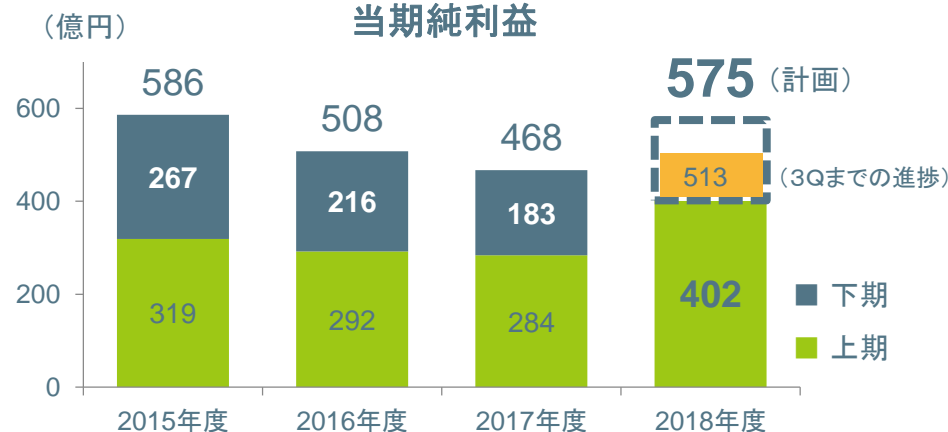
84.1%

2行合算(常陽+足利)

コア業務純益

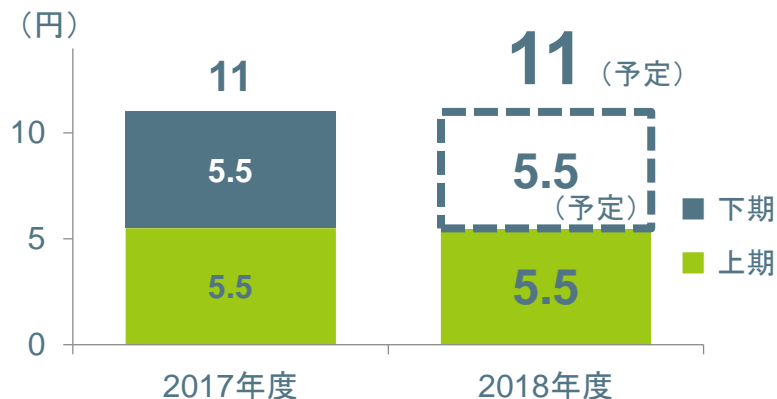


当期純利益



安定した配当と株主優待で株主さまへ利益を還元

1株当たりの配当額



配当政策

- ✓ グループとしての成長に向けた資本の確保と、株主さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、安定配当を目指す。

株主優待制度

- ✓ 当社はお客さま・地域の復興と成長に貢献するため、株主優待制度で地元を応援します。

<対象>

- ・毎年3月末日時点で1,000株以上をお持ちの株主さま

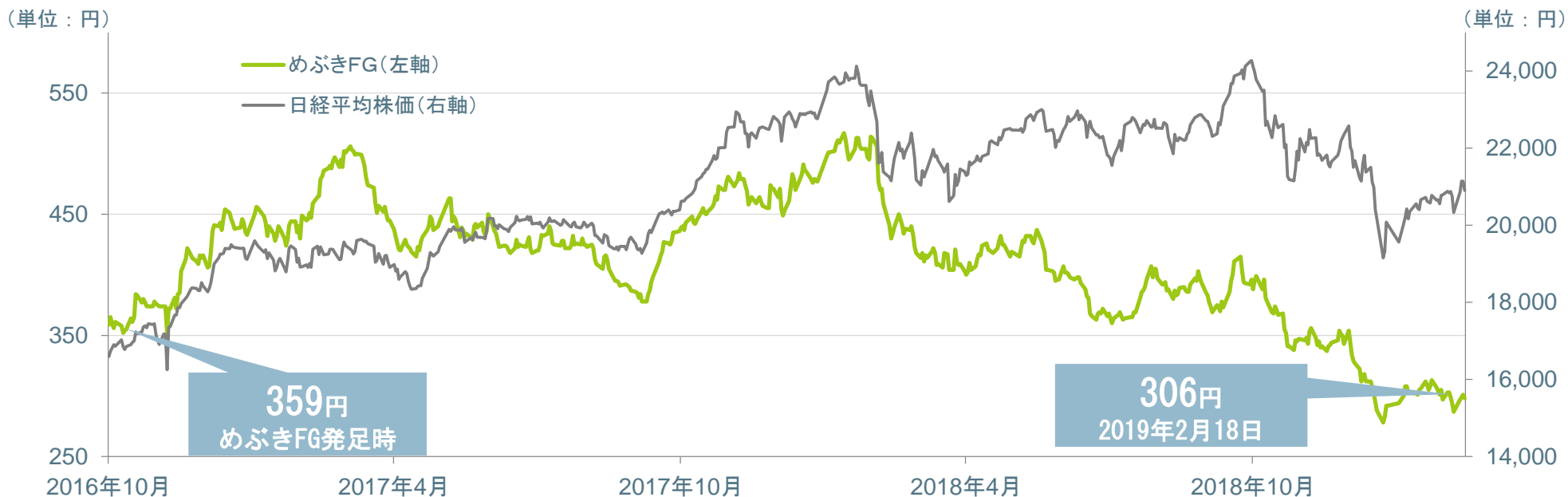
<内容>

- ・地元特産品等を記載の専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの特産品をお選びいただけます。



株価の推移

めぶきFG株価推移



株価指標（地方銀行・グループの時価総額上位3社、近隣行）

(2019年2月18日終値)

	株価	発行済株式数	時価総額	配当利回り	PBR	PER
コンコルディアFG	454円	1,264百万株	5,741億円	3.52%	0.50倍	9.47倍
千葉銀行	687円	865百万株	5,946億円	2.33%	0.56倍	9.77倍
静岡銀行	888円	615百万株	5,462億円	2.48%	0.53倍	10.13倍
めぶきFG	306円	1,179百万株	3,607億円	3.59%	0.41倍	7.98倍
群馬銀行	482円	453百万株	2,187億円	2.70%	0.40倍	7.31倍
武蔵野銀行	2,418円	33百万株	817億円	3.31%	0.34倍	18.00倍

(ご参考) 長期金利(日本国債10年利回り) および株価指数の推移

1 2 3 4



※1999年12月10日を100として3指数を比較(～2019年2月15日)

① めぶきFGについて

② めぶきFGの取り組み

③ 業績・株主還元

④ 資料編

2018年度第3四半期 決算概要

① ② ③ ④

めぶきFG連結

(億円)

2行合算(単体)

(億円)

	2018年度 第3四半期	前年 同期比	業績予想 に対する 進捗率
経常利益	544	△ 27	83.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	① 378	△ 10	84.1%

【連結調整等】 △165億円 = ② - ①

足利銀行の子会社からの受取配当金(特別損益で計上) △120億円
有価証券連単簿価差に伴う調整額 △39億円
劣後ローンの支払利息、経費等

2行合算+銀行業以外のグループ会社

	2018年度 第3四半期	前年 同期比	業績予想 に対する 進捗率
四半期純利益	② 544	+86	87.8%

銀行業以外のグループ会社
四半期純利益(合計) 30億円

	2018年度第3四半期						業績予想に対する進捗率		
	2行合算		常陽銀行		足利銀行		2行 合算	常陽 銀行	足利 銀行
	実績	前年 同期比	実績	前年 同期比	実績	前年 同期比			
業務粗利益	1,382	△25	749	△48	633	+23	76.6%	74.5%	79.1%
(コア業務粗利益)	1,493	+93	825	+33	667	+59	81.3%	79.7%	83.4%
資金利益	1,230	+78	685	+33	545	+45	82.3%	81.0%	83.9%
役務取引等利益	241	+9	131	+0	109	+8	76.5%	75.3%	78.0%
その他業務利益他	△88	△113	△67	△83	△21	△30	-	-	-
(うち国債等債券損益)	△110	△118	△76	△82	△34	△35	-	-	-
経費	855	+6	492	△7	363	+13	74.3%	74.5%	74.1%
うち人件費	455	+6	255	+1	200	+5	75.7%	75.9%	75.4%
うち物件費	341	△1	206	△7	134	+5	71.8%	72.9%	70.2%
実質業務純益	527	△32	257	△41	270	+9	80.5%	74.6%	87.1%
コア業務純益	638	+86	333	+41	304	+45	93.1%	88.9%	98.2%
一般貸倒引当金繰入額(a)	-	+18	-	+7	△32	△21	-	-	-
業務純益	527	△51	257	△49	302	+30	79.3%	72.5%	97.5%
臨時損益	37	△3	97	+61	△92	△98	-	-	-
うち不良債権処理額(b)	57	+1	22	△13	67	+47	-	-	-
うち株式等関係損益	101	△13	127	+36	△25	△50	-	-	-
経常利益	564	△54	354	+12	209	△67	85.5%	92.1%	76.2%
特別損益	116	+127	△1	+6	117	+121	-	-	-
法人税等合計	167	△14	103	+5	63	△19	-	-	-
四半期純利益	513	+87	249	+13	263	+73	89.3%	94.2%	85.1%
信用コスト (a) + (b)	57	+20	22	△6	34	+26	114.5%	75.4%	173.2%

2018年度業績見通し

① ② ③ ④

2018年度業績見通しは、当初公表(2018年5月11日)から変更なし

連結経常利益 650億円(前年度比+14億円) 連結純利益* 450億円(前年度比+19億円)

*親会社株主に帰属する当期純利益
(億円)

めぶきFG連結

	'18年度 3Q実績	'18年度 予想	予想に 対する 進捗率
経常利益	544	650	83.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	378	450	84.1%
ROE 東証基準* ¹	5.6%	5.0%	-
ROE 株主資本基準* ²	6.5%	5.8%	-

*¹ ROE(東証基準)
= (親会社株主に帰属する)当期純利益 ÷ 自己資本

*² ROE(株主資本基準)
= (親会社株主に帰属する)当期純利益 ÷ 株主資本合計

常陽(単体)

	'18年度 3Q実績	'18年度 予想	予想に 対する 進捗率
コア業務純益	333	375	88.9%
経常利益	354	385	92.1%
四半期純利益	249	265	94.2%
ROE 東証基準	5.5%	4.3%	-
ROE 株主資本基準	7.0%	5.6%	-

*³ 子会社からの受取配当金120億円を特別利益に計上

*^{4,5,6,7} 子会社からの受取配当金120億円の影響を控除したROEは5.9%(*⁴)、6.4%(*⁵)、5.9%(*⁶)、6.4%(*⁷)

足利(単体)

	'18年度 3Q実績	'18年度 予想	予想に 対する 進捗率
コア業務純益	304	310	98.2%
経常利益	209	275	76.2%
四半期純利益	263	310* ³	85.1%
ROE* ⁴	10.7%	9.3%* ⁶	-
ROE* ⁵	11.6%	10.2%* ⁷	-

2行合算(単体)

銀行以外のグループ会社

連結調整('18年度予想)

	'18年度 3Q実績	'18年度 予想	予想に 対する 進捗率	'18年度 3Q実績	'18年度 予想	予想に 対する 進捗率
経常利益	564	660	85.5%	46	70	66.5%
四半期純利益	513	575	89.3%	30	45	68.7%

△170億円

足利銀行の子会社からの受取配当金(特別損益で計上) △120億円
有価証券連単簿価差に伴う調整 △35億円
その他(劣後ローンの支払利息等) △15億円

貸出金、預金、役務取引等利益の推移(2行合算)

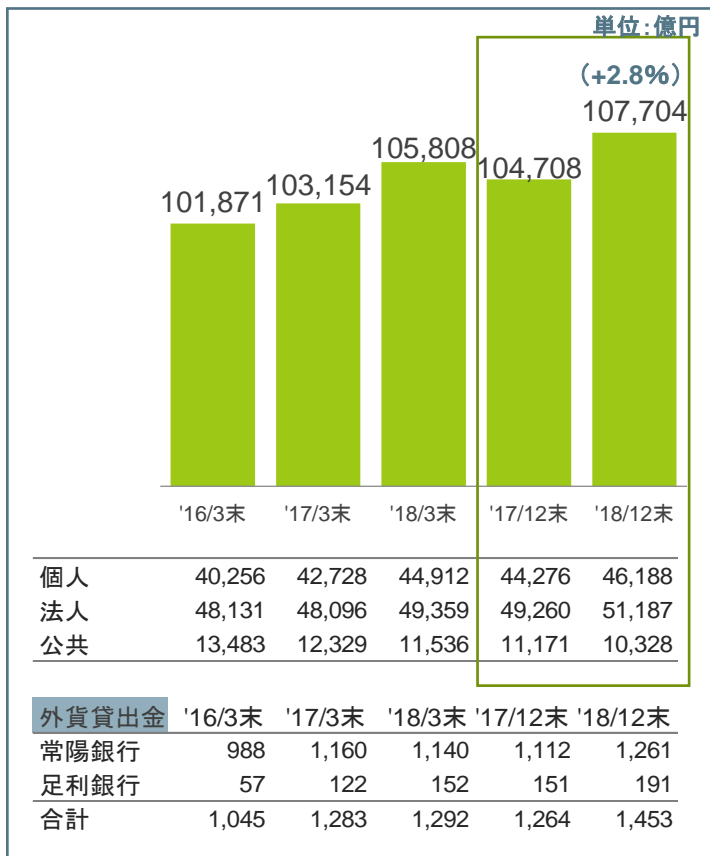
① ② ③ ④

貸出金は、法人・個人貸出金増加により前年同期比+2,995億円(年率+2.8%)

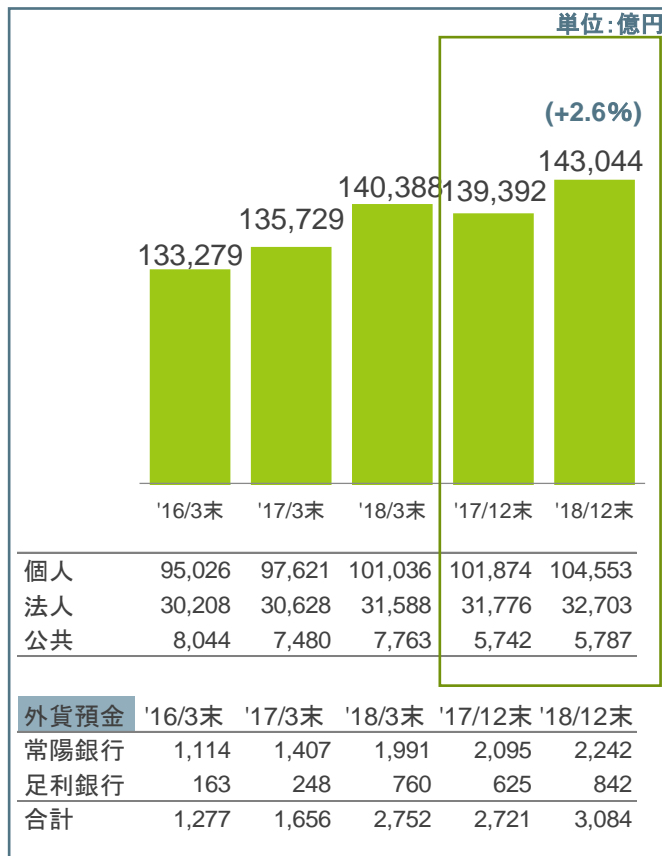
預金は、法人・個人預金増加により前年同期比+3,651億円(年率+2.6%)

役務取引等利益は、法人役務取引の増加により前年同期比+9億円(年率+4.0%)

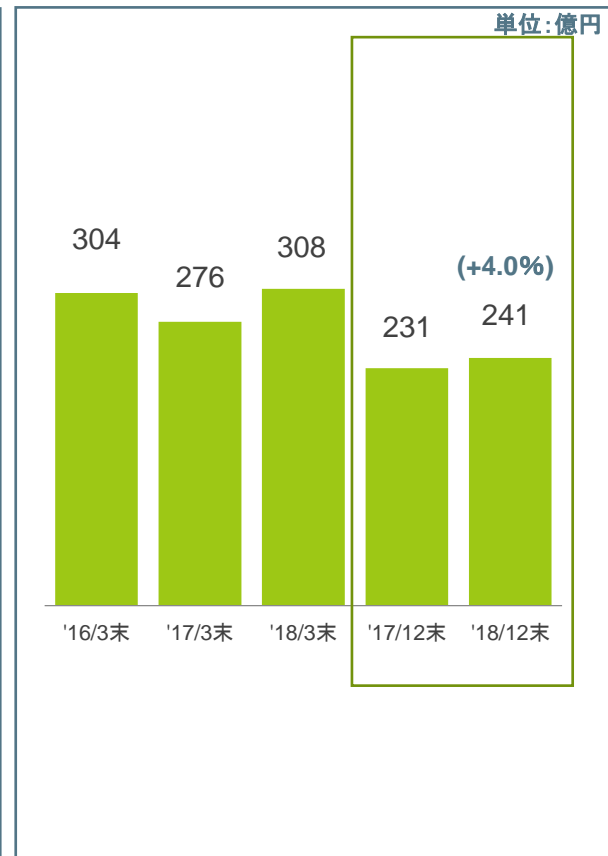
<貸出金の推移>



<預金の推移>

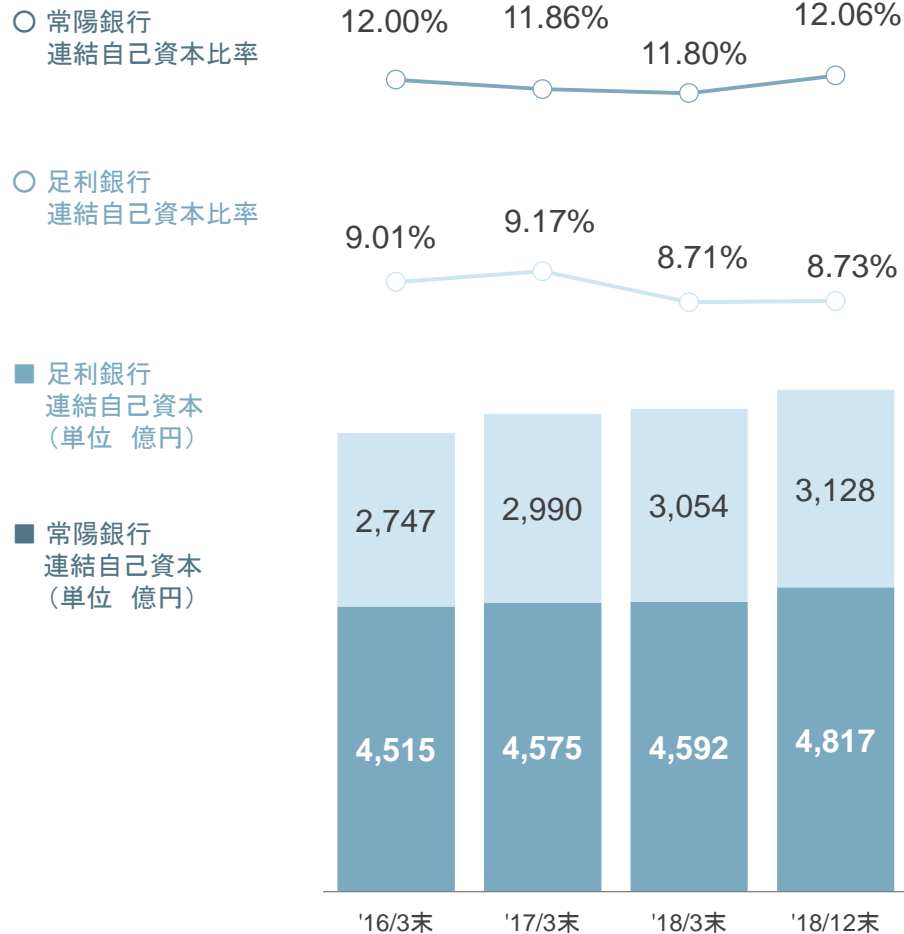


<役務取引等利益の推移>

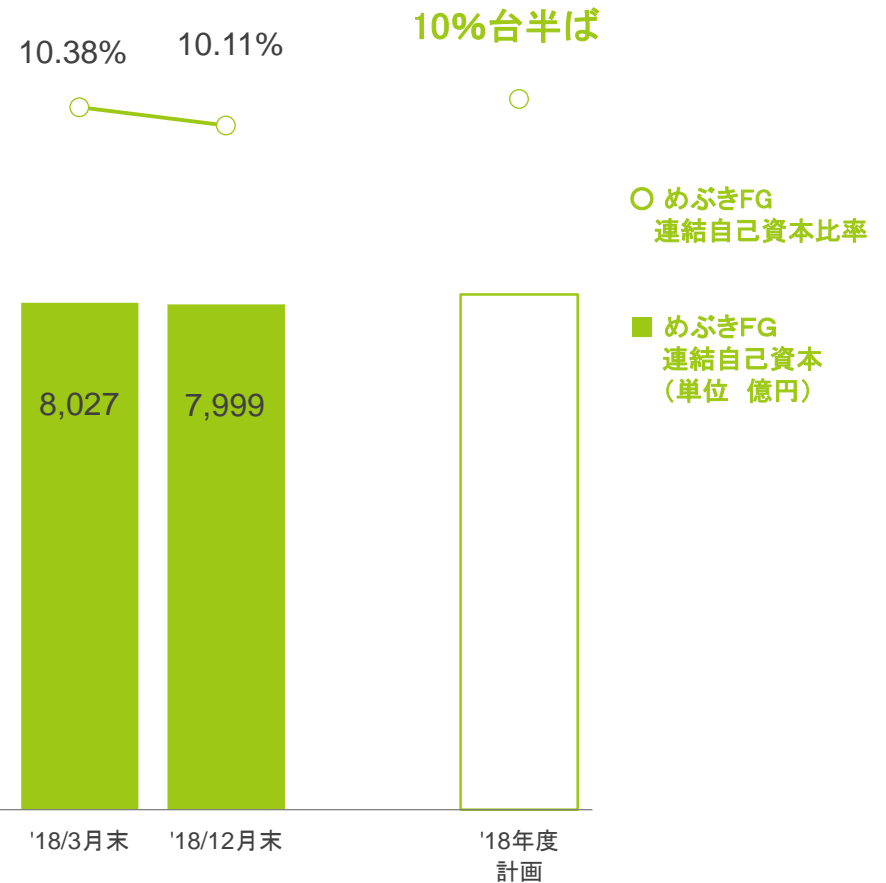


自己資本比率

常陽銀行・足利銀行 | 連結



めぶきFG | 連結



(ご参考) ホームページのご案内

- 1
- 2
- 3
- 4

総合トップ 個人のお客さま

http://www.mebuki-fg.co.jp

株主・投資家の皆さま

http://www.mebuki-fg.co.jp/shareholder/

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

総合トップ 個人のお客さまへ

株主・投資家の皆さまへ

「株主・投資家の皆様へ」をクリック

2017年2月16日 最新情報
最新情報・資産運用向け「2018年度決算報告書」の概要(個別株主の皆さま向け)を公表しました。 (PDF324KB)

2017年2月10日 企業・IR
平成29年3月期第3四半期 決算短信 (PDF1037KB)

2017年2月10日 企業・IR
平成28年度第3四半期 決算短信 (PDF1441KB)

2017年2月10日 企業・IR
平成29年3月期 第3四半期末の自己資本比率について (PDF134KB)

2017年1月30日 最新情報
「めぶき地域共生ファンド」による無償株式への投資について (PDF294KB)

2017年1月20日 最新情報
常陽銀行と足利銀行のキャッシュカード等発行業務の共同化について (PDF161KB)

2017年1月19日 最新情報
常陽銀行の店舗ネットワーク見直しについて (PDF303KB)

2016年12月26日 最新情報
当行特約付帯担保提供の期間延長に関するお知らせ (常陽銀行) (PDF63KB)

2016年12月20日 最新情報
「事業連携・M&Aセミナー」の開催について (PDF177KB)

2016年12月7日 最新情報
めぶきフィナンシャルグループ傘下証券「ハナビリス」を交換会社2017」の開催について (PDF173KB)

サイト更新情報

2017年2月17日 株主・投資家
平成28年度下期の個人投資家さま向け会社説明会の開催スケジュールを掲載しました。

2017年2月10日 企業・IR
平成29年3月期第3四半期 決算短信・決算説明資料・自己資本に関する開示を掲載しました。

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

株主・投資家の皆さまへ

株主・投資家の皆さまへ

業績・財務情報

決算の概況・要請見直し
格付の状況

資産・負債の状況

株式のご案内

株主情報誌
株主の基本情報
株主総会

配当情報
株式に関する手続き・ご照会
電子公告

IRライブラリー

有価証券報告書
投資家・アナリスト向け決算説明会
ディスクロージャー誌
アニュアルレポート

決算短信・決算説明資料・自己資本に関する開示等
個人投資家さま向け会社説明会
ミニ・ディスクロージャー誌

株主優待について

IRカレンダー

業績・財務情報

株式のご案内

IRライブラリー

株主優待について

IRカレンダー

IRに関するよくあるご質問

など、随時更新してまいります。

(ご参考) 用語集

1 2 3 4

JPX400

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される新しい株価指数

企業のメインバンク調査

東京商工リサーチが、同社の企業リストから企業がメインバンクとして認識する金融機関を抽出、集計したもの。

総合金融サービス

多様化するお客さまのニーズに対して、銀行、リース、証券、インクタンクなどのグループ機能を有機的に組み合わせて提供する総合的な金融サービスのこと。

配当性向

利益をどれだけ株主に還元しているかを示す指標(配当額÷当期純利益)。

配当利回り

現在の株価に対する、年間の配当金合計の割合を示す指標。

PBR (Price Book-value Ratio)

株価純資産倍率。株価が一株当たり純資産の何倍になっているかにより、企業の資産面から株価水準を推し量る指標。

PER (Price Earnings Ratio)

株価収益率。株価が一株当たり純利益の何倍になっているかにより、企業の収益面から株価水準を推し量る指標。

寄贈サービス付私募債

発行手数料の一部で、図書やスポーツ用品、楽器等を購入し、発行者が指定する学校等に寄贈するサービスが付いた私募債。

監査等委員会

2014年会社法改正により新たに導入された株式会社の機関設計。過半数の社外取締役を含む取締役3名以上で構成され、取締役の職務執行の組織的監査を担う。

社外取締役

株式会社の取締役であって、現在及び過去において、当該株式会社またはその子会社の代表取締役・業務執行取締役もしくは執行役または支配人その他の使用人ではない者。

MEMO

本日は、めぶきフィナンシャルグループの会社説明会にお越しいただき、誠にありがとうございました。

今後とも、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さまのご期待にお応えできますよう
役職員一同全力を尽くしてまいります。

引き続き一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

本件に関するお問合せ先

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ 経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <http://www.mebuki-fg.co.jp/>

ご注意

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより実際の数値と異なる可能性があります。